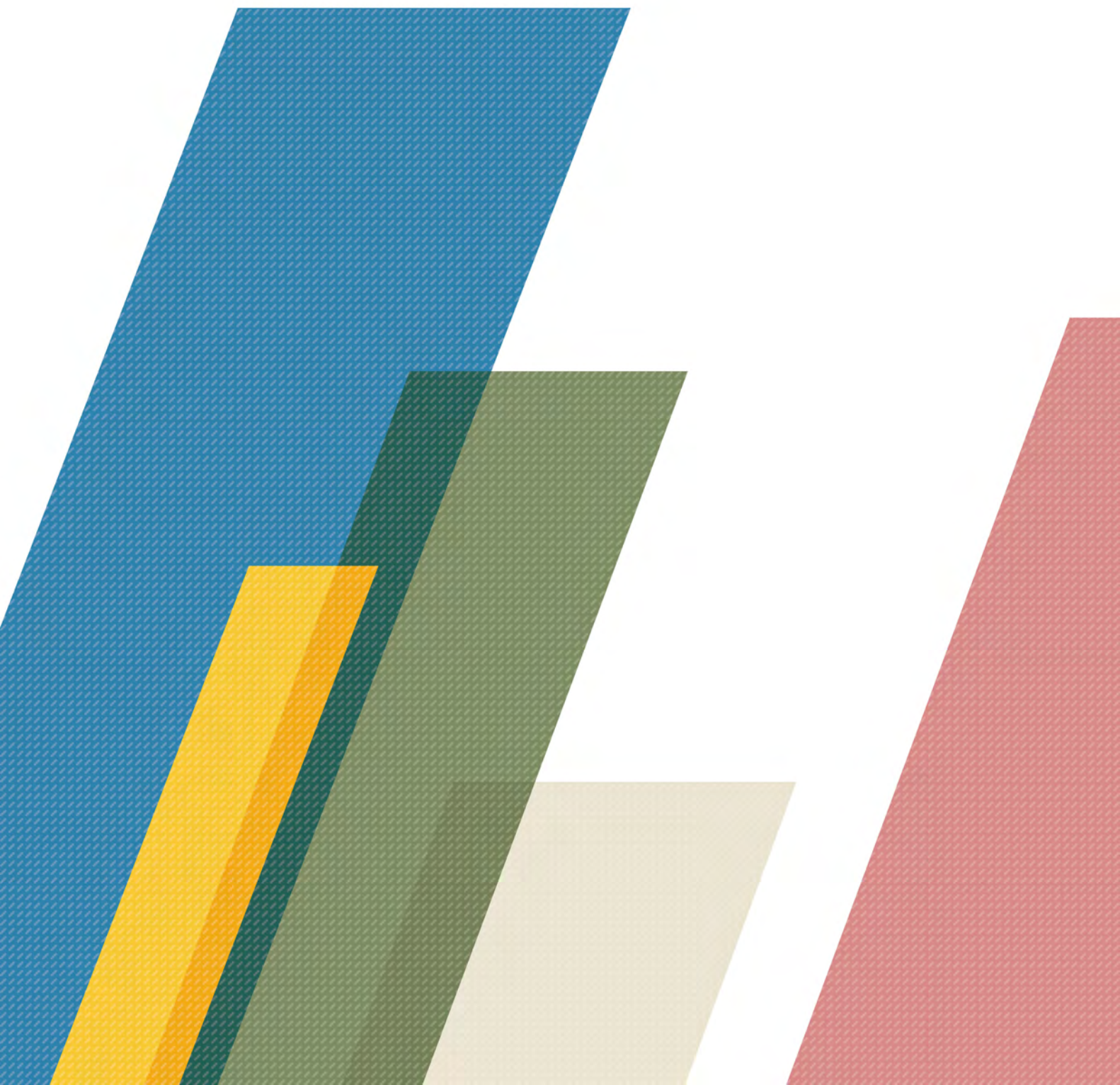




山口市

平成31年(2019年)3月

山口市南部地域 活カアツプ推進プラン



山口市南部地域 活カアップ推進プラン

目 次

1 プランの位置づけ	2
2 対象地域	2
3 対象期間	2
4 基本理念	3
5 基本方針	4
6 プランの進捗を測るための指標	6
7 取組内容	7
(1) 地域資源の魅力発揮	7
① 地域資源の磨き上げ	
② 拠点施設等の機能強化	
③ 情報発信機能の強化	
(2) 地域経済の活気創出	10
① 農水産業の生産、基盤の強化	
② 農水産物の多様な流通・販売チャネルの構築	
③ 農業者、漁業者と商工業者のネットワークづくり	
(3) 移住・定住の促進	12
① 空き家の利活用の促進	
② ふるさと回帰による若者等への支援	
③ 外部人材の活用	
④ 移住・定住の情報発信と相談体制の強化	
8 資料	15

1 プランの位置づけ

master plan

本市では、平成30(2018)年3月に第二次山口市総合計画(以下「総合計画」)を策定し、本市の自然、歴史、文化、産業、まち、人材等といった地域資源の多様性を本市の豊かさや発展の源として、これらを生かすまちづくりを進めることとしています。

本プランは、総合計画の前期基本計画の重点プロジェクト2「協働による個性と安心の21地域づくり」の中で位置づけている「1. 中山間・南部地域の活力アップ～農山村の振興～」の取組を進めるアクションプランとして策定するものです。

1. 中山間・南部地域の活力アップ～農山村の振興～

- 若者ふるさと回帰や定住支援(高校や大学との連携等)
- 外部人材の活用(地域おこし協力隊や外部人材の誘致)
- 空き家利活用の促進
- 地域や民間活力と連携した交流・滞在・学びの場の創出
- 移住定住の情報発信と相談体制の強化
- 農林水産業の振興
- 海洋資源の拠点整備、道の駅機能の強化
- 地域商品のブランド化やニューツーリズムへの支援など

※「第二次山口市総合計画」P41より抜粋

2 対象地域

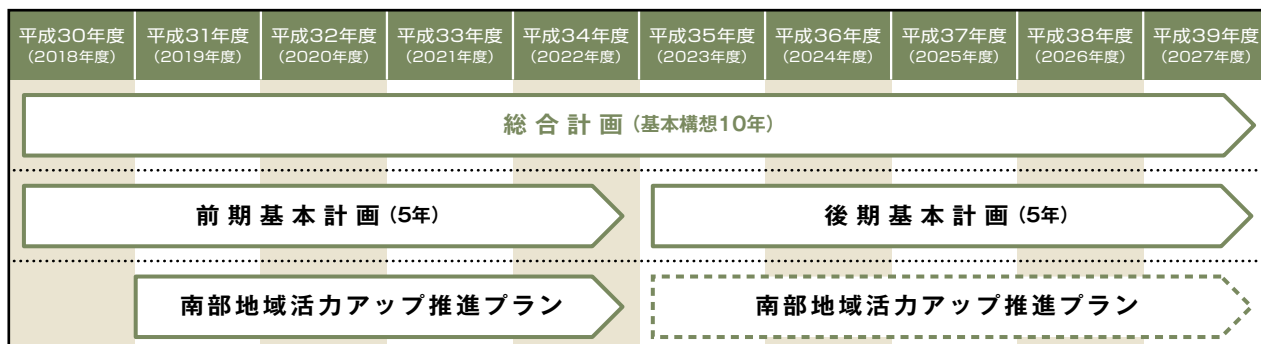
area

陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、嘉川、佐山、小郡、秋穂、阿知須の各地域を本プランの対象地域とします。

3 対象期間

period

本プランの期間は、総合計画の前期基本計画に合わせ、平成31(2019)年度から平成34(2022)年度までの4年間とします。





南部地域は、新山口駅を中心に山口県の陸の玄関として、新幹線、高速道路、主要国道等の交通アクセスに優れ、新たな交流や広域的な経済拠点としての都市空間の形成が進み、穏やかな瀬戸内海や県下有数の穀倉地帯等の豊かな自然や風土、そこから生み出される多彩な農水産物、かつて海路や陸路の要衝として栄えた歴史から生まれた伝統・文化等、多様な地域資源が溢れています。

こうした地域資源は、南部地域における強みであり、南部地域の活力アップに欠かせない重要な財産です。

地域資源の価値や優位性を活用した人々の交流は、地域の潤いと賑わいにつながり、様々なノウハウが蓄積されている産業間の交流は、新たな試みや事業展開といった地域経済の刺激となり、それらは南部地域全体に良い影響を及ぼします。

こうした交流人口の拡大と地域経済の好循環により南部地域の活力アップを図り、南部地域に「訪れたい、住んでみたい、住んでよかった」と感じられるよう、「瀬戸内の恵みと活発な交流がもたらす豊かな暮らし」を基本理念とします。

基本理念である「瀬戸内の恵みと活発な交流がもたらす豊かな暮らし」を実現するため、「地域資源の魅力発揮」「地域経済の活気創出」「移住・定住の促進」の三つを基本方針として取り組みます。

基本方針

1 「地域資源の魅力発揮」

地域では、その土地の自然、歴史、伝統等の地域資源に誇りと愛着を感じ、大切に守り受け継がれています。

来訪者は、こうした地域資源に触れたり、地域の人々と触れ合うことで、その地域に親しみを感じ、将来的な移住・定住のきっかけにつながることから、南部地域の優れた地域資源を通じて、地域を知り、触れ合う機会の創出につなげる「地域資源の魅力発揮」を第一の基本方針とします。

基本方針

2 「地域経済の活気創出」

南部地域は、特色ある農水産物が生産されるとともに、地域の商工業者の優れた技術力やノウハウが蓄積されています。

こうした南部地域における産業の強みを生かし、農水産業の生産基盤の強化や、「もの・技術・情報」の循環による新たな商品開発、事業展開等により地域経済活動の向上につなげる「地域経済の活気創出」を第二の基本方針とします。

基本方針

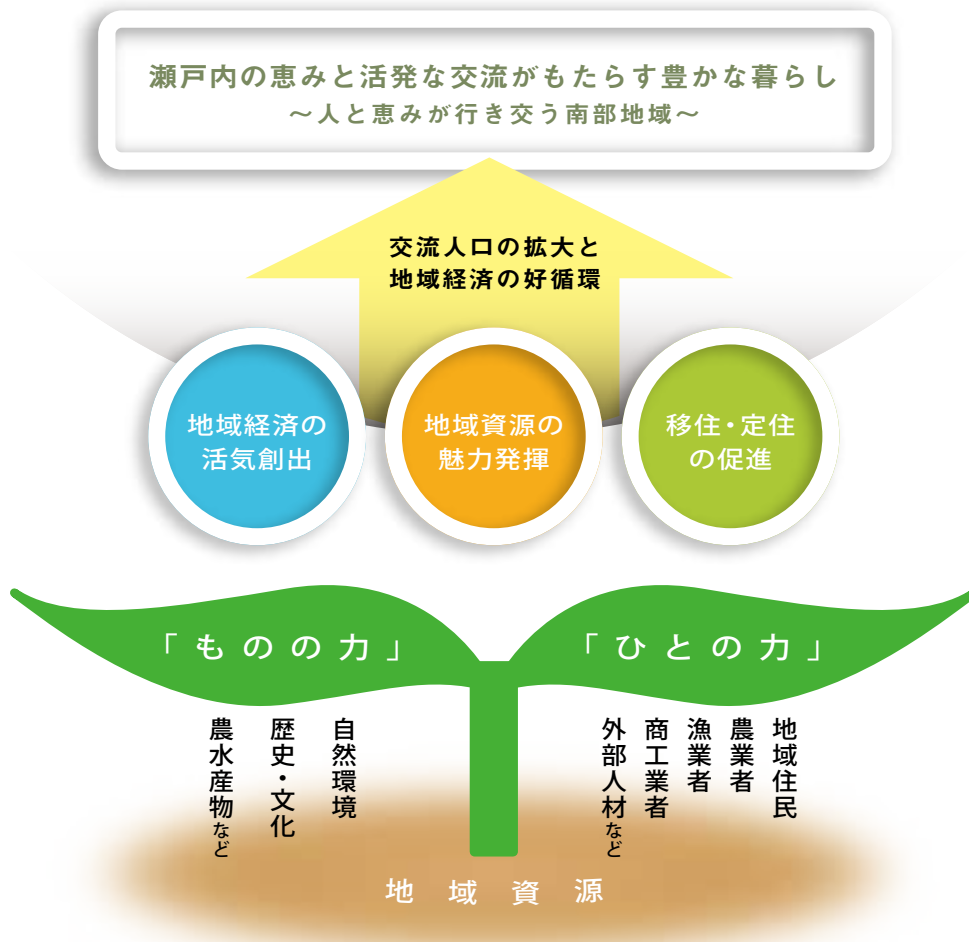
3 「移住・定住の促進」

主に都市地域からのU J Iターン、地域おこし協力隊の受入れ等は、地域の担い手の確保や新たな視点による地域の活性化が期待できます。

こうしたことから、移住希望者等に対して、地域の魅力や生活環境等の情報発信をはじめ、移住に向けた円滑な受入態勢の構築等を進めることにより、地域の担い手の確保や新たな視点による地域の活性化につなげる「移住・定住の促進」を第三の基本方針とします。

■ プランの推進イメージ

「地域資源の魅力発揮」「地域経済の活気創出」「移住・定住の促進」の3つの基本方針を、南部地域の自然環境、歴史・文化、農水産物等の「ものの力」、そして地域住民、農業者、漁業者、商工業者、外部人材等南部地域を支える「ひとの力」、この2つの力を原動力に施策を展開していきます。



本プランの実行にあたり、計画期間中の達成状況を明示するための総合的な指標として、重要目標達成指標（KGI：key goal indicator）及び重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）を設定し、進行状況を管理していきます。

■ 重要目標達成指標（KGI）

南部地域の交流人口		
基準値 平成29(2017)年	目標値 平成34(2022)年	指標の推移
149万人/年	179万人/年	増加

■ 重要業績評価指標（KPI）

道の駅の売上額		
基準値 平成29(2017)年度	目標値 平成34(2022)年度	指標の推移
400,335千円/年	407,500千円/年	増加

※道の駅あいお、道の駅「きらら あじす」の売上額

農山村エリア等における人口の転出超過抑制		
基準値 平成29(2017)年	目標値 平成34(2022)年	指標の推移
0人/年平均	0人/年	抑制

※陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、嘉川、佐山、秋穂地域の社会動態

空き家バンク制度を活用したUJターン件数		
基準値 平成29(2017)年度	目標値 平成34(2022)年度	指標の推移
1件/年	5件/年	増加

(1) 基本方針1「地域資源の魅力発揮」

① 地域資源の磨き上げ

■ 地域の自然環境の保全

日本の原風景を感じさせる景観やセラピー機能・レクリエーション機能等、多面的かつ公益的機能を担う重要な役割を果たす里山・里海の保全活動を支援します。

■ 地域の歴史や文化の保存と活用

地域の歴史や文化の調査研究や史跡の保存、整備に取り組みます。

② 山口市歴史文化基本構想等の策定

地域に存在する文化財を、指定、未指定にかかわらず幅広く把握し、文化財をその周辺環境まで含めて、総合的な保存、活用を目的とする「(仮称)山口市歴史文化基本構想」を策定し、文化財の活用に向けた取組を進めます。また構想の具体的な実施につなげる「(仮称)山口市文化財保存活用地域計画」の策定を進めます。

③ 周防鑄銭司跡(すおうのじゅぜんじあと)の調査研究

古代テクノポリスとして古代国家の経済発展を担っていたとされる周防鑄銭司跡及び陶、鑄銭司地域に点在する関連遺跡等の調査研究を進め、周防鑄銭司跡の保存活用計画を策定します。



④ 名田島新開作南蛮樋の保存整備

古来、瀬戸内海の西端、周防灘に面した地域の江戸時代の干拓の実態を示す名田島新開作南蛮樋の保存と活用のため、史跡公園として整備します。



■ ニューツーリズムの推進

地域の自然や歴史、文化等を活用したニューツーリズムの推進に取り組みます。

⑤ アウトドアスポーツの振興

自転車やスタンドアップパドルボード(SUP)等の大会や体験会を開催し、地域の自然や景観等の活用につながるアウトドアスポーツの振興に取り組みます。



⑥ 地域の自然や歴史、文化を活用した周遊性を生み出す仕掛けづくり

地域の自然や歴史、文化を食やスポーツ等とつなぎ合わせ、地域の周遊につなげる仕掛けづくりに取り組みます。

■ 食資源を活用した地域のブランド形成

地域の農水産物等を活用した特産品づくりに取り組みます。

① 地域資源を活用した特産品の開発

地域の認知度の向上や人々の誇りと愛着の醸成につながる特産品の開発等に取り組む事業者や団体を支援します。



② 特産品を活用した魅力発信

地域の特産品をふるさと納税の返礼品として活用するとともに、新山口駅等を活用し地域の特産品フェアを実施します。

【実施スケジュール】

【凡例】 検討又は計画等策定○ 実施◎

取組事項	実施年度				担当課
	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
■ 地域の自然環境の保全					
榎野川河口域の干潟の再生	◎	◎	◎	◎	環境政策課
生物多様性の確保の情報発信	◎	◎	◎	◎	環境政策課
■ 地域の歴史や文化の保存と活用					
(仮称) 山口市歴史文化基本構想の策定とその実施	○	◎	◎	◎	文化財保護課
周防鑄銭司跡の調査研究と保存活用計画の策定	◎	◎	◎	◎	文化財保護課
名田島新開作南蛮樋の保存整備	◎	◎	◎	○	文化財保護課
■ ニューツーリズムの推進					
アウトドアスポーツの大会や体験会の開催	◎	◎	◎	◎	定住促進課 阿知須総合支所地域振興課
スポーツ大会の開催支援	◎	◎	◎	◎	スポーツ交流課
地域の自然や歴史、文化を活用した周遊性を生み出す仕掛けづくり	◎	◎	◎	◎	定住促進課 観光交流課 阿知須総合支所地域振興課
■ 食資源を活用した地域のブランド形成					
地域の農水産物や歴史・文化等を活用した特産品開発の支援	◎	◎	◎	◎	定住促進課 秋穂総合支所地域振興課 阿知須総合支所地域振興課
特産品のふるさと納税返礼品としての活用	◎	◎	◎	◎	ふるさと産業振興課
特産品フェアの実施	◎	◎	◎	◎	定住促進課

② 拠点施設等の機能強化

■ 道の駅「きらら あじす」の機能強化

年間を通じて多くの人を訪れる山口きらら博記念公園との近接性を生かし、地域の農水産物や特産品等の販売拡大やスポーツを通じた交流人口の拡大等につなげるため、施設の機能強化を進めます。



■ 海洋資源を活用した交流拠点づくり

国民宿舎秋穂荘の観光サービスの強化や道の駅あいおの拡充、海洋資源を活用した新たな仕組みづくり等、水産物の流通拡大と瀬戸内沿岸部の周遊につなげるため、海洋資源を活用した交流拠点づくりを進めます。



【実施スケジュール】

【凡例】 検討又は計画等策定 ○ 実施 ◎

取組事項	実施年度				担当課
	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
■ 道の駅「きらら あじす」の機能強化					
道の駅「きらら あじす」の機能強化	○	◎	◎	◎	阿知須総合支所地域振興課
■ 海洋資源を活用した交流拠点づくり					
海洋資源を活用した交流拠点づくり	○	◎	◎	◎	秋穂総合支所地域振興課
海洋資源を活用した観光漁業等の支援	○	◎	◎	◎	水産港湾課

③ 情報発信機能の強化

■ 地域の魅力を発信する情報コンテンツの充実

地域の自然、歴史、食等の地域資源の魅力をはじめ、地域の生活環境や空き家バンク制度、お試し暮らし住宅の取組等、来訪者や移住希望者のニーズにあった情報コンテンツの充実を図ります。

【実施スケジュール】

【凡例】 検討又は計画等策定 ○ 実施 ◎

取組事項	実施年度				担当課
	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
■ 地域の魅力を発信する情報コンテンツの充実					
情報コンテンツの充実	◎	◎	◎	◎	定住促進課、観光交流課

(2) 基本方針2「地域経済の活気創出」

① 農水産業の生産、基盤の強化

■ 農業経営の基盤の強化

農業の生産基盤の強化や農業経営の安定のための支援、対策に取り組みます。

② 計画的なほ場整備の実施

農地の汎用化による耕地利用率の向上や担い手への集積、農業生産の効率化につなげるためのほ場整備を推進します。



【ほ場整備実施・予定地域】

- ・二島西地区(平成19(2007)年度～)
- ・黒湯地区(平成27(2015)年度～)
- ・鑄銭司地区(平成28(2016)年度～)
- ・川西中地区(平成31(2019)年度～)
- ・佐山北第一地区(平成33(2021)年度～)

③ 地域の特性や消費者ニーズに合った作物の振興

地域の特性や消費者ニーズに合った所得向上が見込める多様な作物の振興に努めるとともに、市内生産者と畜産農家のほか、機械や種苗メーカーとの連携・協働体制による主食用米に依存し過ぎない新たな経営作物の栽培・出荷の実証実験に取り組みます。

■ 水産資源の安定供給の確保

水産資源の安定供給の確保のための支援、対策に取り組みます。

② 「あいおえび」のブランド力強化

車えび養殖事業発祥の地である秋穂地域で生産される車えび「あいおえび」の知名度向上、消費拡大を図るため、ブランド力の強化に取り組みます。



③ 効果的な水産種苗の放流

市場価値が高く湾内での定着性が強いキジハタ、カサゴ等の水産種苗の放流と、放流した水産種苗の食害魚からの保護や餌料供給を目的にした当歳魚保護礁及び幼稚魚育成礁を設置します。

【実施スケジュール】

【凡例】検討又は計画等策定○ 実施◎

取組事項	実施年度				担当課
	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
■ 農業経営の基盤の強化					
ほ場整備の実施	◎	◎	◎	◎	農林整備課
新たな経営作物の実証実験	◎	◎	◎	◎	農林政策課
■ 水産資源の安定供給の確保					
「あいおえび」のブランド力強化	◎	◎	◎	◎	ふるさと産業振興課 秋穂総合支所地域振興課
水産種苗の放流	◎	◎	◎	◎	水産港湾課

② 農水産物の多様な流通・販売チャネルの構築

■ 地域内流通システムの提案

小規模農家の農業所得の向上や農業生産に対する意欲の維持・増進に繋がる仕組みづくりとして、道の駅等を集出荷拠点として農業者と多様な販売チャネル（市内モデル小売店）をつなぐ地域内流通システムの実証運用に取り組みます。



■ 地域の農水産物の販売機会の確保

地域の農業者が生産する少量多品目の農産物や、漁業者が瀬戸内海で水揚げする水産物の販売チャネルとなる直売所の機能充実や情報発信を支援します。

【実施スケジュール】

【凡例】 検討又は計画等策定 ○ 実施 ◎

取組事項	実施年度				担当課
	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
■ 地域内流通システムの提案					
道の駅を活用した地域内流通システムの実証運用	○	○	○	○	農林政策課
■ 地域の農水産物の販売機会の確保					
直売所の機能充実と情報発信の支援	○	○	○	○	農林政策課、水産港湾課

③ 農業者、漁業者と商工業者のネットワークづくり

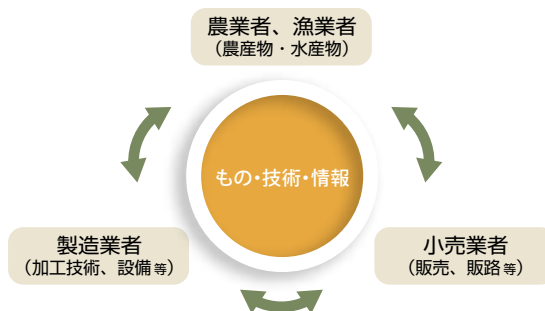
■ 農業者、漁業者と商工業者との関係強化

地域の農水産物と商工業者が有する技術力やノウハウとを結び付けることで、新たな商品開発や事業展開等を促進するため、南部地域の農業者、漁業者、商工業者との関係づくりを進めます。



■ 6次産業化の促進

6次産業化に取り組む農業者、漁業者に対し、加工品の開発や施設の整備を支援します。また、新たに6次産業化に取り組もうとする農業者、漁業者に対し、専門家への相談等を支援します。



【実施スケジュール】

【凡例】 検討又は計画等策定 ○ 実施 ◎

取組事項	実施年度				担当課
	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
■ 農業者、漁業者と商工業者との関係強化					
農業者、漁業者と商工業者の関係づくり	○	○	○	○	定住促進課、農林政策課、水産港湾課
起業創業・事業承継の支援	○	○	○	○	ふるさと産業振興課
■ 6次産業化の促進					
6次産業化に伴う加工品開発や施設整備の支援	○	○	○	○	農林政策課
新たに6次産業化に取り組む初期段階の支援	○	○	○	○	定住促進課

(3) 基本方針 3 「移住・定住の促進」

① 空き家の利活用の促進

■ 空き家バンク制度の展開

民間事業者による不動産の媒介が困難な地域において、空き家の所有者と移住希望者のマッチングを行い、移住者を受け入れる空き家バンク制度を展開します。

■ お試し暮らし住宅の設置

移住希望者等を対象に、地域の生活環境や地域住民との触れ合い等の体験を通じて円滑な移住につなげるお試し暮らし住宅を設置します。



■ 空き家を活用した交流事業の支援

新たな交流につながる空き家を活用した先駆的な事業を企画、実践しようとする個人、団体を支援します。

【実施スケジュール】

【凡例】 検討又は計画等策定○ 実施◎

取組事項	実施年度				担当課
	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
■ 空き家バンク制度の展開					
空き家バンクの開設	◎	◎	◎	◎	定住促進課
■ お試し暮らし住宅の設置					
お試し暮らし住宅の開設	◎	◎	◎	◎	定住促進課
■ 空き家を活用した交流事業の支援					
空き家を活用した交流事業の支援	◎	◎	◎	◎	定住促進課

② ふるさと回帰による若者等への支援

■ UJIターンを希望する若者等を対象とした体験ツアー等の開催

就業や生活環境等個々の希望に応じた内容を組み立てるオーダーメイド型のしごと体験ツアーや、大学等の在校生を対象に市内企業の就業環境の視察や従業員との交流を行うツアー等を開催します。



■ UJIターンで起業創業及びUJIターンを希望する若者等の中小企業への就職支援

国や県、金融機関、商工関係団体等と連携し、起業創業や就職相談等個々の希望に応じた関係機関への橋渡しを行う等、ワンストップで起業創業や就職を支援します。

■ 学生、企業、地域等がつながる交流事業の実施

新山口駅一帯を活用し、新たな雇用創出やシビックプライドの醸成等につなげる取組として、学生、企業、地域の住民や団体等の多様な主体がつながる交流事業を実施します。

【実施スケジュール】

【凡例】 検討又は計画等策定○ 実施◎

取組事項	実施年度				担当課
	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
■ UJIターンを希望する若者等を対象とした体験ツアー等の開催					
体験ツアー等の開催	◎	◎	◎	◎	定住促進課、ふるさと産業振興課
■ UJIターンで起業創業及びUJIターンを希望する若者等の中小企業への就職支援					
起業創業及び就職の支援	◎	◎	◎	◎	定住促進課、ふるさと産業振興課
■ 学生、企業、地域等がつながる交流事業の実施					
交流事業の実施	◎	◎	◎	◎	小郡総合支所地域振興課

③ 外部人材の活用

■ 地域おこし協力隊の配置

外からの新たな視点で地域ブランドや特産品の開発、情報発信等の地域おこし活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る地域おこし協力隊を配置します。



【実施スケジュール】

【凡例】 検討又は計画等策定○ 実施◎

取組事項	実施年度				担当課
	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
■ 地域おこし協力隊の配置					
地域おこし協力隊の受入れと活動支援	◎	◎	◎	◎	定住促進課

④ 移住・定住の情報発信と相談体制の強化

■ 南部地域の特性を活かした情報発信

豊かな自然環境や交通アクセスの利便性等の生活環境について、ウェブサイトやパンフレット等の情報コンテンツや大都市圏で開催されるフェア等を活用し、積極的に情報発信を行います。



■ 地域住民が主体となった情報発信と相談体制の確立

地域住民による地域の暮らしの情報発信や、移住希望者からの相談に対応できる体制を確立し、地域住民と移住希望者が交流できるよう支援します。

【実施スケジュール】

【凡例】 検討又は計画等策定○ 実施◎

取組事項	実施年度				担当課
	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
■ 南部地域の特性を活かした情報発信					
情報コンテンツの活用とフェアへの参加を通じた情報発信	◎	◎	◎	◎	定住促進課
■ 地域住民が主体となった情報発信と相談体制の確立					
地域住民と移住希望者の交流支援	◎	◎	◎	◎	定住促進課

資料

Appendix



① 各地域の面積

本市の面積 1,023.23km²のうち南部地域の面積は 180.88km²であり、市域の 17.7%を占めています。

■ 面積 (km²)

山口市	1,023.23
うち南部地域	180.88
陶	11.52
鑄銭司	20.42
名田島	8.93
秋穂二島	16.15
嘉川	28.87
佐山	12.02
小郡	33.39
秋穂	24.09
阿知須	25.49

■ 山口市における南部地域の位置 (色塗り部分)



山口市の統計(平成29年度)

② 人口の推移

本市の人口は、平成 22 (2010) 年国勢調査において、平成 17 (2005) 年調査時の 199,297 人に比べ 2,669 人減少し 196,628 人となりましたが、平成 27 (2015) 年の調査においては、197,422 人と増加に転じました。

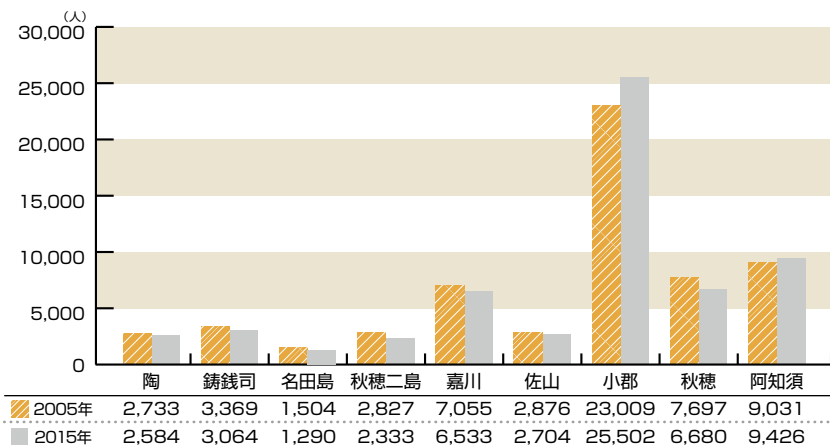
南部地域においては、平成 17 (2005) 年から平成 27 (2015) 年までの 10 年間は、人口はほぼ横ばいですが、小郡地域の増加 2,493 人を除くと 2,478 人の減少となっています。

■ 人口の推移 (人)

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	増減数 2015年~2005年
山口市	199,297	196,628	197,422	▲ 1,875
うち南部地域	60,101	60,219	60,116	15
陶	2,733	2,688	2,584	▲ 149
鑄銭司	3,369	3,153	3,064	▲ 305
名田島	1,504	1,410	1,290	▲ 214
秋穂二島	2,827	2,573	2,333	▲ 494
嘉川	7,055	6,874	6,533	▲ 522
佐山	2,876	2,833	2,704	▲ 172
小郡	23,009	24,250	25,502	2,493
秋穂	7,697	7,262	6,680	▲ 1,017
阿知須	9,031	9,176	9,426	395

国勢調査

■ 各地域人口(2015年と2005年の比較)



国勢調査 ※陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、嘉川、佐山の人口は本市独自集計

③ 将来の人口の推移

■ 人口の推移(将来)

(人)

	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	増減数 2025年~2015年
山口市	197,422	192,749	188,269	▲ 9,153
うち南部地域	60,116	58,136	56,177	▲ 3,939
陶	2,584	2,359	2,210	▲ 374
鑄銭司	3,064	2,773	2,541	▲ 523
名田島	1,290	1,212	1,125	▲ 165
秋穂二島	2,333	2,192	2,035	▲ 298
嘉川	6,533	6,264	5,975	▲ 558
佐山	2,704	2,604	2,501	▲ 203
小郡	25,502	25,392	25,164	▲ 338
秋穂	6,680	6,275	5,878	▲ 802
阿知須	9,426	9,065	8,748	▲ 678

本市の総人口は減少していくものと予測され、平成 27 (2015) 年と比較して平成 37 (2025) 年には 9,153 人 (4.6%) の減少が見込まれています。

南部地域においては、3,939 人 (6.6%) の減少と、減少率では市全体を上回ると見込まれています。

	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)	平成52年 (2040年)	平成57年 (2045年)	平成62年 (2050年)	平成67年 (2055年)	平成72年 (2060年)	平成77年 (2065年)
山口市	183,264	177,655	170,930	163,197	156,025	148,747	141,004	132,619
うち南部地域	54,001	51,645	49,018	46,295	43,892	41,505	39,057	36,435
陶	2,077	1,951	1,822	1,682	1,562	1,462	1,371	1,274
鑄銭司	2,328	2,113	1,880	1,659	1,486	1,354	1,249	1,145
名田島	1,033	937	837	741	676	625	582	542
秋穂二島	1,869	1,700	1,527	1,367	1,227	1,110	1,018	937
嘉川	5,666	5,352	4,998	4,624	4,328	4,064	3,799	3,541
佐山	2,375	2,241	2,088	1,940	1,821	1,715	1,608	1,493
小郡	24,763	24,190	23,451	22,581	21,671	20,628	19,470	18,188
秋穂	5,467	5,060	4,644	4,245	3,930	3,655	3,400	3,147
阿知須	8,423	8,101	7,771	7,456	7,191	6,892	6,560	6,168

(2015年は国勢調査。2020年以降は第二次山口市総合計画策定時の本市独自推計。)

④ 老年人口割合の推移

本市全体の老年人口割合 (65 歳以上の人口割合) は、平成 17 (2005) 年国勢調査時の 21.7% から平成 27 (2015) 年調査時には 27.3% と 10 年間で 5.6 ポイントの増加となっています。

南部地域においては、24.5% から 30.0% と 5.5 ポイントの増加となっています。

■ 老年人口(65歳以上の人口) 割合の推移

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	増減数 2015年~2005年
山口市	21.7%	23.8%	27.3%	5.6pt
うち南部地域	24.5%	26.6%	30.0%	5.5pt
陶	30.4%	32.3%	37.2%	6.8pt
鑄銭司	31.3%	38.2%	44.0%	12.7pt
名田島	32.5%	35.6%	43.3%	10.8pt
秋穂二島	31.0%	35.4%	40.7%	9.7pt
嘉川	26.1%	29.2%	34.5%	8.4pt
佐山	24.5%	29.5%	33.6%	9.1pt
小郡	18.7%	19.3%	21.6%	2.9pt
秋穂	29.3%	33.6%	39.6%	10.3pt
阿知須	26.5%	28.3%	31.0%	4.5pt

国勢調査

⑤ 年少人口割合の推移

本市全体の年少人口割合（15歳未満の人口割合）は、平成17（2005）年国勢調査時の14.2%から平成27（2015）年調査時には13.2%と10年間で1.0ポイントの減少となっています。

南部地域においては、13.4%から12.8%と0.6ポイントの減少となっています。

■ 年少人口（15歳未満の人口）割合の推移

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	増減数 2015年~2005年
山口市	14.2%	13.8%	13.2%	▲ 1.0pt
うち南部地域	13.4%	13.1%	12.8%	▲ 0.6pt
陶	11.8%	11.2%	9.6%	▲ 2.2pt
鑄銭司	7.6%	6.9%	6.6%	▲ 1.0pt
名田島	9.2%	8.2%	8.7%	▲ 0.5pt
秋穂二島	10.4%	8.7%	7.9%	▲ 2.5pt
嘉川	13.3%	11.8%	11.1%	▲ 2.2pt
佐山	13.7%	13.7%	12.6%	▲ 1.1pt
小郡	15.0%	15.0%	14.9%	▲ 0.1pt
秋穂	11.8%	10.9%	9.6%	▲ 2.2pt
阿知須	14.7%	15.1%	15.4%	0.7pt

国勢調査

⑥ 農業（農業就業人口）

本市全体の農業就業人口（販売農家）は、平成17（2005）年から平成27（2015）年の10年間に3,684人（41.6%）の減少となっています。

南部地域においては、1,456人（44.5%）の減少となっています。

■ 農業就業人口（販売農家）

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	増減数 2015年~2005年
山口市	8,855	6,685	5,171	▲ 3,684
うち南部地域	3,275	2,333	1,819	▲ 1,456
陶	275	193	187	▲ 88
鑄銭司	361	253	250	▲ 111
名田島	318	186	170	▲ 148
秋穂二島	328	231	155	▲ 173
嘉川	528	311	214	▲ 314
佐山	247	282	138	▲ 109
小郡	246	178	141	▲ 105
秋穂	536	353	301	▲ 235
阿知須	436	346	263	▲ 173

農林水産省 農林業センサス

⑦ 漁業（漁業経営体数）

山口県の漁業経営体数は、平成15（2003）年から平成25（2013）年の10年間で1,858戸（33.9%）の減少となっています。

本市では、73戸（42.7%）の減少となっています。

■ 漁業種類別経営体数

(戸)

	平成15年 (2003年)	平成20年 (2008年)	平成25年 (2013年)	増減数 2013年~2003年
山口県	5,476	4,553	3,618	▲ 1,858
山口市	171	125	98	▲ 73

農林水産省 漁業センサス

⑧ 主な観光地別観光客数

南部地域における観光客数を主要観光地別に見ると、国民宿舎秋穂荘、道の駅あいお、道の駅「きらら あじす」では平成 25 (2013) 年と平成 29 (2017) 年を比較すると 10%を超える減となっています。一方、鑄銭司・大村神社・長沢池、山口市小郡文化資料館、秋穂八十八ヶ所では 10%を超える増となっています。

なお、鑄銭司・大村神社・長沢池は鑄銭司郷土館を中心とした、「明治 150 年記念事業」や「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」の効果により、また、SL「やまぐち」号については、豪雨災害からの復旧により大幅な増となっています。

一方、道の駅「きらら あじす」については、平成 27 (2015) 年開催の「世界スカウトジャンボリー」の反動減や平成 29 (2017) 年に実施した改修工事(販売スペースの拡充)の影響等により、直近の 2 年間は減少となっています。

また、宿泊者数に着目すると、新山口駅周辺ホテルの宿泊者数に増加傾向が見られます。

■ 観光地別観光客数(主な観光地)

(年、人)

	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)	増減数 2017年～2013年
鑄銭司・大村神社・長沢池	8,283	8,035	14,779	16,363	19,530	11,247
SL「やまぐち」号	14,389	33,634	47,979	47,505	40,214	25,825
山口市小郡文化資料館	7,202	9,087	11,270	10,647	10,570	3,368
新山口駅周辺ホテル	261,154	262,772	277,984	283,575	283,039	21,885
国民宿舎秋穂荘	38,582	39,229	36,966	37,453	34,536	▲ 4,046
秋穂八十八ヶ所	15,276	16,040	15,276	12,985	16,804	1,528
海水浴場	13,677	15,815	15,230	14,987	14,147	470
道の駅あいお	181,694	176,685	175,521	172,995	161,250	▲ 20,444
道の駅「きらら あじす」	767,789	741,548	771,371	669,966	638,954	▲ 128,835
阿知須温泉	18,147	17,910	19,309	19,503	17,086	▲ 1,061

山口市観光課交流課調べ

⑨ 交流人口

南部地域における観光客数は、スポーツ大会等の大型イベントや観光キャンペーンの開催により、年ごとにばらつきはありますが、直近 5 か年において概ね横ばいとなっています。

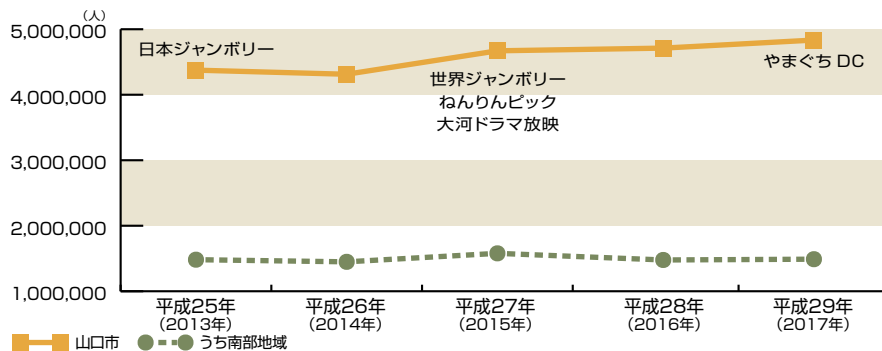
■ 交流人口の推移

(年、人)

	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)	平成28年 (2016年)	平成29年 (2017年)
山口市	4,375,749	4,312,787	4,670,592	4,834,693	4,834,693
うち南部地域	1,481,884	1,449,150	1,578,657	1,489,367	1,489,367

山口市観光交流課調べ

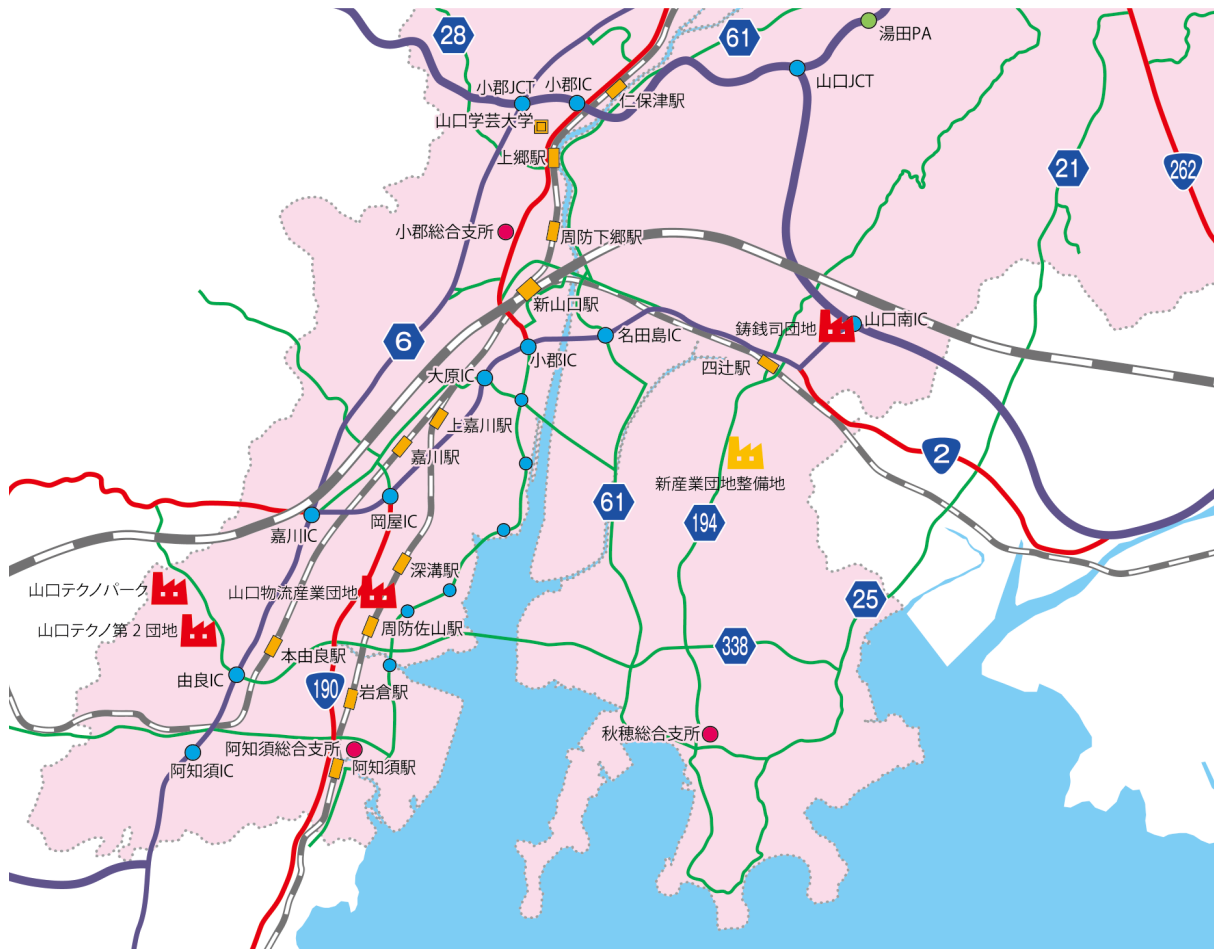
■ 交流人口の推移



10 交通

南部地域には、鉄道が、山陽新幹線、山陽本線、山口線及び宇部線の4路線走っていて、駅が合計12駅あります。新山口駅は、それら4路線が結節しています。

また、道路では南北に国道9号及び山口県道6号（山口宇部道路）が、東西に国道2号及び山陽自動車道、中国縦貫自動車道が通っています。



(凡例) 産業団地 産業団地(建設中)

コラム

「南部地域の交通アクセスの優位性を活用した取組」

広域交通網の結節点である新山口駅周辺を中心に、南部地域の交通アクセスの優位性は、本プランの目指す交流人口を創出するうえで、重要な地域資源の一つです。

本市では、この交通アクセスの優位性を生かし、南部地域に多くの企業誘致を実現してきました。現在、さらなる企業誘致を図るため、新たな産業団地の整備を進めています。また、新山口駅周辺のポテンシャルを更に発揮させる取組として新山口駅周辺の都市基盤整備に取り組んでいて、現在、新山口駅北地区拠点施設の整備を進めています。

【新山口駅北地区拠点施設整備事業】

新山口駅周辺において、交流人口の拡大、産業振興等を図る新山口駅北地区拠点施設の整備を進めていて、平成33年度の供用開始を予定しています。

【鑄銭司第二団地整備事業】

近年の好調な企業進出から、雇用創出と地域経済の活性化を図る新たな産業団地の整備を進めていて、平成34年度に分譲開始を予定しています。

⑪ 主なスポーツ・レジャー施設等

南部地域には、海水浴場、登山道、キャンプ場等をはじめ、山口きらら博記念公園や山口県セミナーパーク、温泉施設等、スポーツやレジャーに活用できる施設や場所が多数あります。



海水浴場等	美濃ヶ浜、中道海水浴場、尻川海水浴場、きらら浜等
温泉施設	長沢温泉、国民宿舎秋穂荘、阿知須温泉等
スポーツ施設等	山口南総合センター、山口県セミナーパーク、山口市南部運動広場、河原谷公園、山口市小郡屋内プール、小郡ふれあいセンター、山口市小郡体育館、山口市小郡運動公園、山口市大海総合センター、山口きらら博記念公園、あじす元気ランド、フィッカルあじす、阿知須体育センター等
ゴルフ施設	長沢池、宇部 72 カントリークラブ等
キャンプ場	千坊川砂防公園等
登山口	陶ヶ岳、亀尾山・勘十郎岳、串山連峰等

⑫ 主なイベント等

南部地域では年間を通じて、豊かな自然や歴史・文化、各種スポーツ施設を活用したイベント等が開催されています。

<p>地域のまつり等のイベント</p>	<p>阿知須ひなもんまつり（2月頃） オゴオリザクラまつり（4月頃） 秋穂八十八ヶ所お大師まいり（4月頃） 阿知須浦まつり（5月頃） ふしの夏祭り（7月頃） えび狩り世界選手権大会（8月頃） 陶ふれあいまつり（11月頃） 鑄銭司ふるさとまつり（11月頃） 名田島ふるさとまつり（11月頃） ふたじままつり（11月頃） 嘉川文化祭（11月頃） 佐山地区ふるさとまつり（11月頃） おごおり文化祭（11月頃） あいお祭り（11月頃） あいお花火まつり（11月頃） あじすふれあいまつり（11月頃） 年末朝市 in 名田島（12月頃）</p>
<p>スポーツ関係イベント</p>	<p>山口市駅伝競走大会（1月頃） 山口市民クロスカントリー大会（2月頃） 山口クロスカントリー大会（2月頃） ツール・ド・ヤマグチ湾（5月頃） きららノルディックウォーキングフォーラム（9月頃） ヨガフェスやまぐち（10月頃） 浜村杯秋穂ロードレース大会（11月頃） きららドリームリレーマラソン（11月頃） A J I S U 駅伝大会（12月頃）</p>
<p>音楽関係イベント</p>	<p>WILD BUNCH FEST（8月頃）</p>

⑬ 主な歴史・文化施設等

南部地域には、国、県、市が指定する文化財等、地域の長い歴史や風土に育まれた伝統や文化があります。



(凡例) 主な歴史・文化施設など

建造物	正八幡宮本殿・拜殿・楼門及び庁屋附棟札、正八幡宮鐘楼、旧桂ヶ谷貯水池堰堤、江畑溜池堰堤
彫刻	木造薬師如来坐像
歴史資料	善光寺式阿弥陀三尊立像板木
史跡	陶陶窯跡、大村益次郎墓、周防鑄銭司跡、周防灘干拓遺跡（名田島新開作南蛮樋）、百谷窯跡
天然記念物	秋穂二島のアラカシ、小郡町ナギ自生北限地
無形民俗文化財	陶の腰輪踊

国、県指定文化財より

郷土館・民俗資料館	鑄銭司郷土館、小郡文化資料館等
旧宅・屋敷跡	其中庵、阿知須いぐらの館等

市の文化施設より

⑭ 農水産業

南部地域は、樫野川河口一帯に大規模な農地が広がっていて、米、麦、大豆、露地野菜等の栽培が盛んに行われています。

また、瀬戸内海に面した地域では、多彩な水産物が漁獲、生産されています。



都市計画基礎調査(平成29年)より

(凡例) ■ 田 ■ 畑

農産物	水稲、小麦、大豆、はくさい、たまねぎ、キャベツ、すいか、はなっこりー、かぼちゃ、トマト、いちご、ぶどう、みかん、肉用牛、乳用牛、豚、ブロイラー等
水産物	ハモ、レンショウ、アサリ、タコ、マダイ、クロダイ、スズキ、アワビ、サザエ、ヒラメ、エソ、ボラ、ノリ、車エビ、アカエビ、キジハタ、カサゴ、モクズガニ、シジミ等

⑮ 農水産物直売所・観光農園等

南部地域には、農水産物の直売所や観光農園が開設されています。



<p>農産物直売所</p>	<p>新鮮農家の産直市、鑄銭司ふれあい朝市、長沢ふれあい市、名田島ふれあい市、ふたじまハーモニー市、嘉川ふれあい朝市、八方原ふれあい朝市、JA山口中央農産物直売所「ぶちええ菜」、道の駅あいお、秋穂ふれあい朝市、道の駅「きらら あじす」</p>
----------------------	---

農産物直売所は山口市農林政策課「朝市マップ」より

用語（五十音順）	解 説	初出頁
里海	自然地域と都市地域の間位置し、藻場や干潟などが当たる沿岸地域で、里山と同じく人と自然が共生する場所のこと。	7
里山	自然地域と都市地域の間位置し、集落とその周辺の森林や農地、ため池などで構成される地域のこと。	7
シビックプライド	市民が自分の住んでいる、働いている都市に対して「誇り」や「愛着」を持って、自らもこの都市を形成している1人であるという認識を持つこと。	12
スタンドアップパドルボード	水上でボードの上に立ち、パドルを漕ぐスポーツのこと。SUP（サップ）。	7
生物多様性	地球上の生物の種とその生息環境、遺伝子の多様さのこと。	8
地域おこし協力隊	都市地域から農山村等に移住し、一定期間、地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売PR等の地域おこしの支援、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組又は活動する人のこと。	2
当歳魚保護礁	ふ化した年の魚の生存率を高めるため、餌料供給機能及び隠れ場機能を備えた保護礁のこと。	10
ニューツーリズム	テーマ性が強く、体験型・交流型の要素を取り入れた新しい形態の旅行のこと。	2
農地の汎用化	農地に排水路や暗きょを整備し、稲作以外の麦や大豆等の畑作物の栽培もできるようにすること。	10
U J Iターン	Uターン・Jターン・Iターンの頭文字を取ってできた言葉で、Uターンは出身地に戻ることに、Jターンは出身地の近隣の地方都市に戻ることに、Iターンは出身地以外の地方に移り住むこと。	4
幼稚魚育成礁	幼稚魚の生息環境を整備するため、岩礁帯又は既設の石材礁の周囲に設置する藻礁のこと。	10
6次産業化	農業などの一次産業食品加工・流通・販売などの経営の多角化を行うこと。農業経済学者が提唱した造語（一次産業×二次産業×三次産業）のこと。	11

山口市地域生活部定住促進課

〒753-8650 山口市亀山町2番1号
TEL 083-934-2942 FAX 083-934-2702
✉ teiju@city.yamaguchi.jp